

第3章 まちづくり構想

1. まちづくり構想の基本的な考え方

1) 基本的な考え方

- ・本市の都市形成のルーツである岡山城を中心とした、後樂園や旭川、城下町の名残を留める出石町・石関町など、先人たちが守り伝えてきた歴史文化資産や風致・景観は市民共有の貴重な資産であり、本市の「誇り」として永く後世への継承を図っていく。
- ・国指定史跡である岡山城本丸の保存整備事業を着実に進めていくとともに、本市のシンボルである岡山城の主要部（西の丸を含む二の丸内屋敷郭内）にふさわしい、歴史を学ぶ場、市民の憩いの場としての空間づくりに取り組む。
- ・岡山城、後樂園、博物館・美術館群、出石町・石関町等岡山カルチャーゾーン全体の回遊性を向上させ、観光地としての魅力アップを図ることにより、観光客の滞在時間の拡大に向けた取り組みを進める。

2) エリア区分

まちづくり構想の対象地域は概ね岡山城・後樂園・旭川を中心とした岡山カルチャーゾーン内であるが、これを、岡山城との関係、属する城郭遺構の重要性、中心市街地における位置付け等を考慮して以下のエリアに区分し、エリアごとにまちづくりの方針を定める。

(1) 岡山城主要部エリア

○範囲：岡山城の本丸及び二の丸内屋敷郭以内

岡山城の本丸には城の象徴・天守閣と、岡山藩庁兼藩主私邸である表書院と、藩主私邸である本段御殿が所在し、また二の丸内屋敷郭は藩主及びその家族の屋敷や、藩主の祖先廟所・祈祷所等が所在しており、藩主一族がほぼ独占的に使用していた岡山城の中核部と言える部分である。

本丸の大部分や、内屋敷郭の一部は国の史跡に指定されており、現存する櫓2棟は国の重要文化財に指定されている。内屋敷郭を囲む内堀が全て姿を消し、旭川沿いは河川改修により旧状を失っているため、郭の範囲が一見して明確ではなくなっているが、西の丸や対面所跡、外下馬門周囲の石垣等、郭の外郭西側～南側を形成していた石垣が良好に遺存しており、一体の郭であることを意識したまちづくりを進めていくことが必要な区域である。また、岡山城と後樂園の間を流れる旭川は、築城時に流路が変更され、城の堀として機能していること、天守閣が川面に映る姿が岡山城を代表する景観のひとつであること等から、本区域のあり方を考えて行く上において、旭川が重要な資産であることに留意しておく必要がある。

(2) 天神町エリア

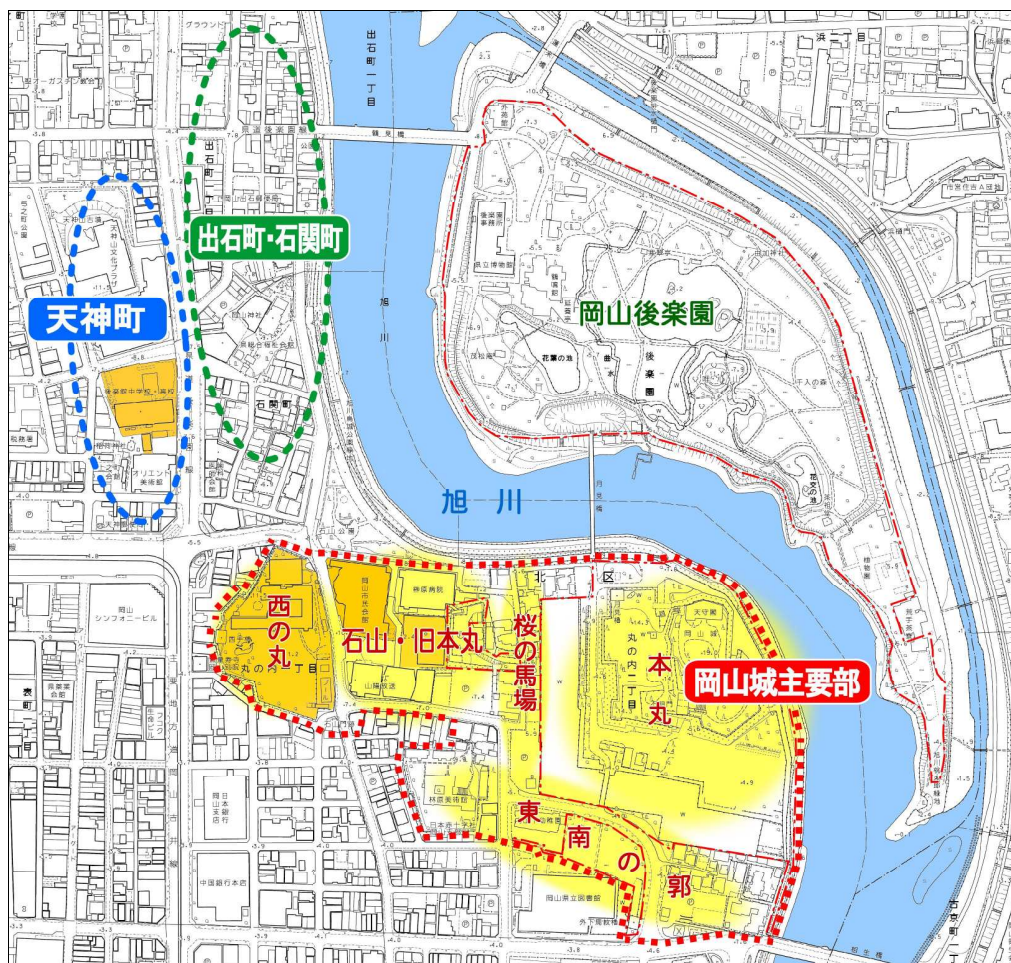
○範囲：天神町のうち、城下筋に面した区域

天神町は、岡山城を構成する3丘陵（岡山・石山・天神山）のひとつで、かつては岡山藩主池田家の分家である鴨方池田家の屋敷地や郡部を治める郡会所が所在していた。現在、郭の遺構は天神山北端に残された石垣以外に見当たらない状況であるが、城下筋に沿って建築家・岡田新一氏設計の2美術館（岡山市立オリエント美術館・岡山県立美術館）が建ち並び、落ち着いた佇まいを見せている区域である。

(3)出石町・石関町エリア

○範囲：石関町及び出石町一丁目

石関町は岡山城西の丸の北門に通じる町で、町内に酒折宮（岡山神社）を擁する岡山城主要部に最も近接した町人地であった。出石町は中堀を隔てて石関町の北に位置する津山往来沿いの町人地で、昭和20年の空襲で岡山市中心部が灰燼に帰す中、番町と並び奇跡的に戦禍を免れた。現在も城下町時代の面影を残す古民家や細い路地が残り、また町内から鶴見橋が岡山後楽園に通じている、岡山後楽園の「門前町」でもある。



2. まちづくり構想

1) 岡山城主要部

現在は本丸が烏城公園として整備され、本丸に加えて後楽園、旧本丸及び県立図書館敷地の一部が国の史跡に指定されているが、引き続き、全体の風致の維持と景観の保全のための環境整備に努めるとともに、将来的には歴史資産を活かした公園（以下「歴史公園」という）として整備することを目指す。

(1) 岡山城主要部内の地区別構想

①本丸

- ・ 岡山城の中核となる郭であり、「歴史体験ゾーン」として、天守閣を中心に最も岡山城らしさを感じることが出来る空間づくりを進め、城の魅力と文化財価値の向上を図る。
- ・ 現在実施中の史跡整備事業を着実に進めていく。
- ・ 現存する月見櫓および4棟の再建建築物（天守閣・不明門・廊下門・六十一雁木上門）以外の城郭建築の復元や、実測図や古写真が豊富に残されている天守閣の木造復元あるいは正確な外観への改修については、将来的な課題として、その是非も含めて市民を巻き込んだ議論を行い、その結果を踏まえて可能性を検討していく。

②旧本丸・石山

- ・ 発掘調査等により往時の姿を明らかにした上で、区域内の段階的な整備に取り組み、歴史公園にふさわしい景観とする。
- ・ 区域内に立地する岡山市民会館については、老朽化及び耐震化対応の課題があり、建替えが必要であるが、現在地は将来的に歴史公園として整備を行うため、岡山城主要部外への移転建替えを検討する。
- ・ 旧NHK岡山放送会館跡地については、将来的に歴史公園として整備を行う。

③西の丸

- ・ 郭周囲に石垣が良好に保存され、また国指定重要文化財の西手櫓が現存しており、発掘調査等により往時の姿を明らかにした上で、一部遺構が残る庭園の復元も含め、全体を歴史公園として整備する。整備に当たっては、本郭が岡山駅方面から城を訪問する際の入口となることから、隣接する旧本丸・石山地区と一体的に、城の「ウェルカムゾーン」として、城としての雰囲気意識した景観保全に努めるとともに、将来的に本郭が旧本

丸の石垣越しに天守閣を眺望する新たなスポットとなりうることも考慮に入れて来訪者のための利便施設の設置も含め幅広い活用策を検討する。

- ・ 旧内山下小学校校舎については、その文化財的価値を考慮するとともに、耐震性を有していないことも踏まえつつ、広く市民や観光客が利用可能で、かつ歴史公園と調和の取れた活用方法を基本として検討を進める。

④桜の馬場及び東南の郭

- ・ 林原美術館及び県立図書館敷地を除いた内堀沿いの住宅地は、現在すでにほとんどが都市計画公園及び風致地区に指定され、風致の維持が図られているため、今後も本丸に隣接する地区にふさわしい風致の維持の継続に努める。

(2) 景観の保全

- ・ 岡山城本丸及び岡山後楽園とその周囲は戦前から風致地区に指定され、先人たちの努力により風致・景観の保全が図られてきたが、今後もこれを維持継承するとともに、岡山城主要部内についても、城内にふさわしい風致・景観を維持保全するための建造物（建物、塀、生垣等）の規制・誘導等について検討する。
- ・ 天守閣からの眺望や、岡山城主要部内における天守閣・月見櫓・西手櫓の眺望、岡山城主要部周辺からの天守閣の眺望の確保を図るため、それを妨げる要因（電柱・電線類、樹木・植栽等）を検証し、その対応策について検討する。
- ・ 岡山城主要部内及びその周囲に存在する各種工作物（石碑・案内看板・標識等）・建築物（管理施設・利便施設・橋梁等）等について、城郭内にふさわしいあり方について検討する。

(3) 城郭遺構の保護

- ・ 石垣等の城郭遺構が良好に遺存している箇所や、今後、発掘調査において遺構が発見された箇所については、遺構の保護のための措置を検討する。

2) 天神町

天神町は、市立オリエント美術館、県立美術館の2美術館を中心に、「文化芸術ゾーン」として、後楽園と岡山城をつなぐ回遊路としての魅力向上を目指す。

- ・ 天神町の城下筋沿いは、戦後建築された2館の美術館が並ぶ様が岡山カルチャーゾーン

を特徴付ける景観を生み出しており、今後も良好な街並み景観を維持継承していく。

- ・ 後楽館中高一貫校天神校舎跡地は、市立オリエント美術館、県立美術館に隣接した立地性を重視するとともに周辺の天神山文化プラザといった文化施設と連携を図りカルチャーゾーンのポテンシャルを高めるため、市民会館の移転候補地のひとつとして検討する。

3) 出石町・石関町

出石町・石関町は、後楽園の門前というカルチャーゾーン内回遊路の重要地点に位置する地区であり、地域住民と行政が連携しながら、地区に伝わる伝統文化、戦災を免れた路地裏が残る街並みや先人の業績を活かした「コミュニティ文化ゾーン」として、界わいの魅力向上に努める。

- ・ 後楽園の「門前町」として、周辺の水辺空間（旭川）や後楽園、岡山城、天神町地区等との回遊性の向上を目指し、地域住民の手によるまちづくり活動と連携し、古い町並みや路地裏が残る地区の特性を活かした界わいの魅力向上に取り組む。
- ・ 「出石しろまち工房」を、地区に伝わる伝統文化や地域情報の発信、にぎわい創出の拠点施設として活用していく。

4) 上記を除く旧城下町

旧武家地、旧町人地、旧寺町等それぞれの歴史性を踏まえ、また残された数少ない歴史・文化資産を活かし、それを身近に感じることができるまちづくりを進める。

- ・ 戦災を免れた城下町時代の貴重な遺構の発見・保存・継承に努める。
- ・ 地域と連携し、地域における歴史資源の発掘とその情報発信活動に努める。

5) 回遊性の向上

各地区の特質を活かした魅力づくりを進めるとともに、それらの地区を結ぶ街路、その沿線の植栽・旭川沿いの柵などの各種工作物や岡山城と後楽園を結ぶ月見橋をはじめとする建築物等のあり方について検討を進め、特色ある回遊路の創出に取り組む。

○ 回遊路のイメージ

①水と緑の回遊路

「コミュニティ文化ゾーン（出石町・石関町界わい）」から「歴史体験ゾーン（岡山城本丸）」へと旭川堤防沿いをたどる。旭川の水と石山公園・烏城公園の緑が美しい、開放感と爽快感あふれる水と緑の回遊路。

②文化と芸術の回遊路

岡山後樂園から「コミュニティ文化ゾーン（出石町・石関町界わい）」から「文化芸術ゾーン（天神町）」へ。岡山の文化と芸術の魅力あふれる回遊路。

③城と歴史の回遊路

「ウェルカムゾーン（岡山城西の丸・石山）」から烏城みちをたどり、目安橋から城の「歴史体験ゾーン（岡山城本丸）」へ入り、天守閣を仰ぎ見つつ廊下門、月見橋を通過して岡山後樂園へ。城の主要部をたどる岡山城の歴史と魅力を体感する回遊路。

3. 構想の実現化

1) 構想の期間

概ね10年以内に事業完了を目指すものを短期とし、その他を中・長期とする。短期に位置付けられる事業については、平成26年度以降に順次事業に着手する。

表 3-1：構想の期間

地区	事業内容	主体	短期	中・長期	
岡山 山城 主要部	歴史公園整備	市	■	■	
	城郭の景観・風致の維持保全	市・民	■	■	
	城郭建造物の復元	市		■	
	本丸	史跡整備			
		下の段(テニスコート跡)	市	■	
		その他本丸	市		■
	二の丸 内屋敷	旧内山下小校舎活用・跡地整備	市・民	■	
		旧NHK岡山放送会館跡地整備	市	■	
		市民会館(移転後)跡地整備	市	■	
天神町	後楽館中高一貫校天神校舎跡地整備	市	■		
	良好な街並み景観の維持向上	市・民	■	■	
石出 関石 町町	良好な街並み景観の維持向上	市・民	■	■	

2) 構想の推進

まちづくり構想の推進に当たっては、地元住民・事業者、関係行政機関、まちづくり団体等と地区の将来像について認識を共有し、協働で進めていく。

(1) 市の体制づくり

本構想の実現に当たっては、事業実施主体が多部局にわたるため、関係部局間の調整・連携を十分に行っていく必要がある。

このため、本構想に基づき実施する事業の進行管理や関連計画との整合性を図り、全庁を挙げて一体的に推進していく体制を構築するため、構想策定のために局長級で組織した「都心創生まちづくり構想検討委員会」を、下部組織である課長級の幹事会も含めて構成員も見直し、市長・副市長及び局長級で組織する「都心創生まちづくり構想推進委員会（仮称）」及び課長級で組織する「同委員会幹事会（仮称）」に発展的に改組し、総合的に事業を推進する。

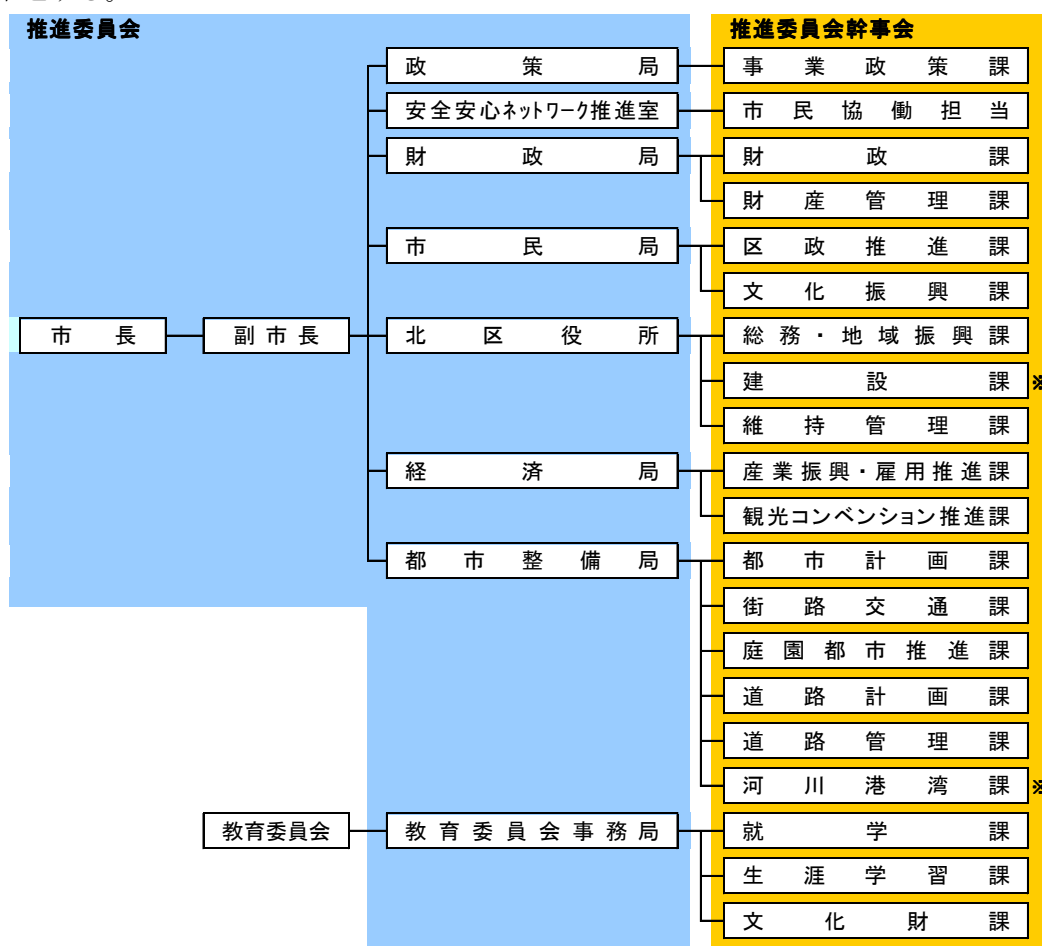


図 3-3 : 都心創生まちづくり構想推進委員会（仮称）及び同幹事会（仮称）関係部局
（平成 25 年度の機構名）

※印の課は、現在の都心創生まちづくり構想検討委員会幹事会の構成員ではないが、推進委員会幹事会（仮称）に新たに加える課

(2) 市民協働による事業の推進

構想に基づく取り組みは多岐にわたるため、本構想の実現に当たっては、行政においてその全てを実施することは困難である。また構想の対象地域には多くの住民や事業者が現に居住し、事業を営んでいるため、その理解と協力が事業を推進していくための大きな前提となる。さらに、対象地域内において活動するまちづくり団体等との協働や、国・県や大学・経済団体等の関係機関の協力も不可欠であり、必要に応じて協議組織を設ける等、多様な主体との連携を密にし、一体となって取り組みを推進していく。

(3) まちづくり機運の醸成

本構想に基づくまちづくりを進めていくにあたっては、市民が街の歴史・文化を知り、誇りを感じ、そして伝えていこうと思う機運を醸成し、まちづくりに対する理解を深めていくことが重要である。このため、学校教育、公民館等における社会教育や、岡山シティミュージアムでの展示、あるいは岡山城・岡山後樂園を会場に開催される各種催し等を通じて、岡山城をはじめとする市の歴史・文化に対する市民の関心を高めていく取り組みも必要である。

都心創生まちづくり構想イメージ

[コミュニティ文化ゾーン] 出石町・石関町界わい

・地区の特性(古い街並み・路地裏・伝統文化・先人の業績)を活かした賑わいの町



イメージ: 菓子屋横丁(埼玉県川越市)

[文化芸術ゾーン] 天神町

・県立美術館・オリエンタ美術館・天神山文化プラザ等の文化芸術施設が生み出す良好な都市景観と緑豊かな散策路。



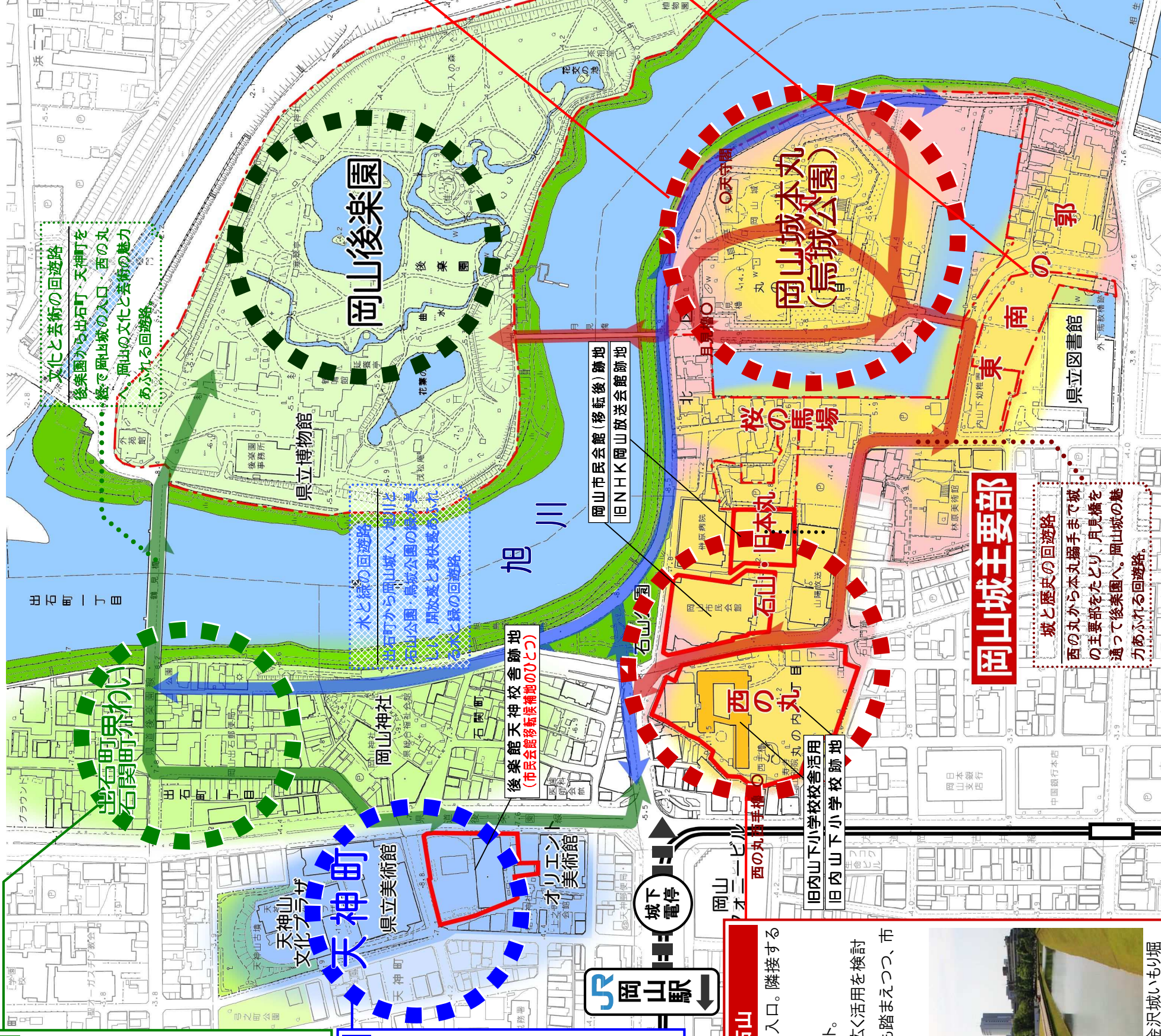
イメージ: 百万石通り(金沢市)

[ウエルカムゾーン] 岡山城西の丸・石山

- ・岡山駅方面からの城(カルチャーズゾーン)の入口。隣接する石山と一体的に城らしい雰囲気。
- ・旧本丸石垣越しに天守を遠望する新スポット。
- ・来訪者のための便利施設の設置を含め幅広く活用を検討
- ・旧内山下小学校校舎…耐震性がないことも踏まえつつ、市民・観光客が利用可能な活用方法を検討。



イメージ: しいのき迎賓館(旧石川県庁舎)と金沢城いり堀



[歴史体験ゾーン] 岡山城本丸

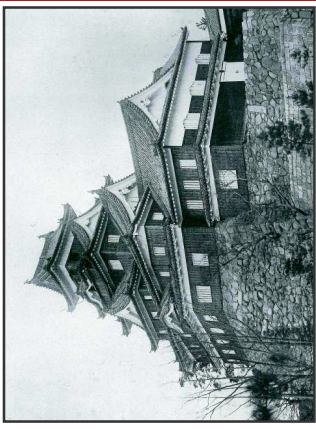
岡山城の中核となる郭。天守閣を中心に、最も「岡山城らしさ」を感じさせる空間づくり。城の魅力と文化財価値の向上

○史跡整備

下の段(テニスコート跡)の整備事業の着実な実施。

○天守閣の復元、城郭建築の復元

城郭建築(門、櫓など)、天守閣の木造での忠実な復元は、市民を巻き込んだ議論を行い、その結果をもとに将来的な課題として可能性を検討。



戦災焼失前の天守閣



城郭建築イメージ: 左から太鼓櫓、内下馬門、大納戸櫓

[風致の維持] 桜の馬場・東南の郭

ほとんどが都市計画公園又は後楽園風致地区に指定されている本丸に隣接した地区の風致の維持継続。

[景観の保全] 主に岡山城主要部内

岡山城内にふさわしい景観の保全。

○天守閣からの眺望と天守閣・櫓の眺望の保全

眺望を妨げている要因(電柱電線、樹木植栽、建造物など)の検証とその対応策を検討。

○城内にふさわしい景観の保全

景観保全のための環境整備、建造物の規制・誘導策を検討。

○城内にふさわしい建築物・工作物のあり方

各種工作物(石碑・案内看板・標識等)、建築物等(管理施設・トイレ施設・橋梁等)のあり方を検討。

[城郭遺構の保護] 岡山城主要部内

遺構が良好に遺存している箇所や新たに遺構が発見された箇所は、その保護措置を検討。

[構想の推進]

- ① 片内の体制づくり
- ② 市民協働による事業の推進
- ③ まちづくり機運の醸成

城と歴史の回遊路

西の丸から本丸堀手まで城の主要部をたどり、月見橋を渡って後楽園へ。岡山城の魅力あふれる回遊路。